第 軽自動車税廃車申告書兼標識返納書 申告の理由 種 別 (原動機付自転車・小型特殊自動車) 原動機付自転車 小型特殊自動車 廃 車 □ 廃棄 □ 第一種(0.05L以下) □ 農耕作業用 四 □ 譲渡 □ 第二種 Z(0.09L以下) □ その他 异 年 月 Ħ 標識番号 鳴門市 □ 転出 □ 第二種 甲(0.125L以下) 鳴門市長 殿 □ 盗難·紛失 □ ミニカー □ その他 つぎのとおり申告及び標識の仮納をします。 年 月 Ħ 廃車年月日 1. 左記所有者の住所又は所在地と同じ 住 所 又は 主たる定置場 所在地 名 フリガナ 重 型式及び年式 原動機の型式番号 型 氏 名 税者名称 年式 車台番号 型式認定番号 総排気量又は定格出力 日 電話番号 生年月日 明・大・昭・平・令 月 年 L kW住 所 標識返納がない場合、その理由 標識返納の有無 又は 務 使 所在地 1. 有 ハ.破損 イ. 盗難 口。紛失 ニ、その他( (フリガナ 具体的に: 氏 名 2. 無 又は 名 称 届出年月日 被害年月日 年 月 年 月 Ħ 生年月日 明・大・昭・平・令 年 月 日電話番号 住 所 警察署 届出警察署 交番 · 駐在所 又は 所在地 届 受理番号 フリガナ 氏 名 又は 名 称 電話番号

## 第34号様式記載要領

- 1 この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車1台ごとに作成すること。
- 2 「申告の理由」及び「種別」の各欄には、該当箇所の□(チェック欄)にレを記入すること。
- 3 「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入すること。
- 4 「納税義務者」の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみを記入すること。
- 5 「届出者」の欄には、申告に来た者が納税義務者以外の者である場合に記入すること。
- 6 「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合については1を○で囲み、それ以外の場合については2の欄にその住所又は所在地を具体的に記入すること。
- 7 「標識返納の有無」の欄には、標識の返納が有る場合には1を、また、標識の返納のない場合には2を○で囲むこと。なお、標識の返納のない場合については、その理由に該当する項目を○で囲み、具体的な理由を〔 〕内に記入すること。
- 8 「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届出た 年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入すること。